

家畜衛生だより

令和7年4月14日 発行

中央家畜保健衛生所
村山地域家畜畜産物衛生指導協会
〒990-2161 山形市漆山 736 番地
Tel 023-686-4410/Fax 023-686-5715

熊本県の馬飼養農場で 馬インフルエンザの発生を確認！

4月8日、熊本県の馬（重種馬）飼養農場3戸において、我が国では2008年以來の馬インフルエンザの発生が確認されました。現在熊本県では、感染馬の隔離、飼養馬の移動自粛、ワクチン接種指導、施設の消毒等により、まん延防止を図っています。

発生予防には飼養衛生管理の遵守とワクチン接種が重要

飼養衛生管理について再確認し、農場へのウイルス侵入を防止しましょう！

- 農場入退場時には、人、車両、持込物品を消毒
- 厩舎入退場時には、専用の衣類、長靴、手袋を使用
- 鼻ネジや膣鏡などの体液が付着する物品は確実に清掃および消毒を実施

本症の予防には、不活化ワクチンが用いられています。感染を完全に防ぐものではありませんが、症状の軽減や排出ウイルス量を減少させる効果があります。

飼養する馬に、高熱、激しい乾性発咳、多量の鼻汁等の症状がみられた場合には、当該馬を隔離して、獣医師または家畜保健衛生所に連絡して下さい。



<粘稠性鼻汁>



<発咳>

中央家畜保健衛生所 023-686-4410(休日・夜間共通)